



真鶴中学校だより 第二五〇号

鶴からの手紙

2023
4.14
責任者
市川 麻美

「令和五年度も 晴れやかに！」

四月六日、三十四名の新入生と新たに着任した教職員とともに、真鶴中学校の令和五年度は穏やかにスタートしました。今年度は、三学年すべてが単級（一クラス）となり、教員数が大幅に削減されており、そのような中ではありますが、生徒の活動に支障のないよう、「安全」で「安心」できる「明るく楽しい元気な」学校を全職員で運営して参りたいと思っております。



保護者・地域の皆様のご理解とご協力をどうぞ引き続きよろしく願います。始業式では、例年どおり整然とした中、三年生のたくましい

姿に二年生も追随する姿が圧巻でした。学校の「顔」「柱」としての自覚を強く感じました。入学式では、新入生の元気な「ハイ」という返事に希望にみちたパワーを感じる事ができました。

感染症対策は行いながらも、制限のない学校生活に戻っていきます。しかし、ただ元通りとするのではなく、この三年間の形をさらに工夫して、新しい学校生活を充実させられるようにしたいと思います。みんな「新しい真中スタイル」を確立していきましょう！

「二・三年生の抱負」

始業式で、二年生と三年生から、それぞれ年度始の抱負を伝えてもらいました。

私達は二年生に進級しました。一年生の一年間はとも早く過ぎていきました。今年四月からしっかりと

目標を決めて取り組んでいきたいと考えています。

二年生の目標は二つあります。一つは「三年生を支え一年生を引っ張っていく」です。私は昨年度運動会実行委員でした。先輩がブロック集会で司会など中心となって引っ張っている姿を見て、格好いい先輩みたいになりたいとお思いました。そのためにも、真鶴中学校の伝統である「挨拶」が大切だと感じています。挨拶をすることで会話がしやすくなります。自分から進んで挨拶をして、一年生や三年生とのコミュニケーションをスムーズにしていきたいと思っています。

もう一つは「期限を守って課題を提出すること」です。二年生の成績が、今後の進路に関わります。具体的には、授業に集中しマナログを活用することです。そして、毎日計画的に家庭学習に取り組んでいきたいです。

この二つの目標を達成するためにも、自分だけでなく学年のみんなと一年生の時以上に成長していきたいと思っています。

二年一組 向笠莉央

私は、三年生になっても仲間と協力して、助け合えるクラスを目指したいと思っています。三年生は運動会の運営、修学旅行、学習活動発表会、そして受験勉強と日常の勉強との両立



など、大変なことが多くあります。特に重要なのは、受験勉強だと思います。受験は自分の進路を決める大切なことなので、全力で取り組みたいです。勉強をたくさんすることは、自分のためになるので大切なことだと思います。しかし、勉強する時間が増えると、友達と話したり、仲良くしたりする時間が減るといことも考えられます。私達三年一組の仲が良いという長所が、薄れてしまうのは残念なことです。だから、勉強など大変なことがあっても、仲間と協力して助け合えるクラスを目指していきたいです。そのために私は、運動会の運営や修学旅行など、班やクラスのメンバーと協力する場を有効活用したり、ちよつとしたことでも、友達との時間を大切にしたりして、目標達成を目指していきたいと思っています。

三年一組 原田 善生

「新入生からのことば」

新入生は入学式と対面式で代表の生徒が話をしてくれました。こちらにも、堂々とした立ち振る舞いでした。

『入学式のことば』

色とりどりの花が咲きそろそろ季節となった今日。みんなで明るく元気に真鶴中学校に入学できたことをとてもうれしく思います。六年生になった時から、切り替えのできる立派な中学生になるために、様々なことを頑張ってきました。その頑張りを今日からいかしていきたいと思います。



中学校は小学校とは違った楽しさ、大変さ、難しさがあると思います。これから始まる新しい生活を想像すると、不安なことも少なくはありません。しかし、真鶴中学校での学習生活発表会やウィンタースクールでの先輩方の楽しそうに輝く姿を見ると、これから何があるのか楽しみになりました。

これから始まる中学校での三年間、色々なことがあると思います。立派な中学生になれるよう、仲間と支えあい、勉強や部活動を楽しみ、努力をしていきます。先生方、先輩方、よろしくお願いします。

一年一組 関浦 歩花

『対面式のことば』

私たち三四名は、四月六日の入学式を無事に終え、真鶴中学校の一員になることができました

今、私はとてもわくわくした気持ちです。なぜなら、先輩方と協力して様々な行事を行うことができるからです。中でも、私が一番楽しみにしているのは部活動です。小学校のクラブ活動では無かった部があり、習い事以外で自分の好きなことを行えるからです。ウィンタースクールで、生徒会の皆さんに案内してもらい、より楽しみになりました。

入学したばかりなので、分からないことがたくさんあると思います。その時は、教えてくれたら嬉しいです。これから真鶴中学校の一員として、よろしく願います。

一年一組 栗原 結乃

「就学援助のお知らせ」

真鶴町では町立の小中学校にお子さんが通学される家庭で、経済的理由によりお子さんの就学について困っている場合、学用品の購入など、教育費の一部を援助する制度があります。この制度は、町教育委員会が援助を希望される家庭の収入状態や、家

庭や学校での状況等から、総合的に検討、判断し適当であると認められた方が受けられるものです。この就学援助を希望される方は「就学奨励費交付申請書」を提出してください。

申請書は町内の小・中学校及び真鶴町教育委員会にあります。また、真鶴町公式ホームページからダウンロードができます。

※第一回提出期限は、四月二〇日（水）です。（最終申請期限は令和六年一月一九日（金））

※第一回の提出期限以降の申請は途中認定となるため、援助内容の全てが受けられない場合があります。

心に本の種を蒔こう～本棚から～

情報委員会が発足し、今年度も図書室が開室されました。本は、町からの他にPTAからの援助もあり、蔵書が豊富になってきました。ですから生徒だけでなく、PTA会員であれば誰でも借りることができます。

4月からNHKの朝ドラ「らんまん」が始まりました。これは植物学者、牧野富太郎氏をモデルにしたお話です。彼は子どもの頃植物に興味を持ち、観察に没頭し、人生の大半を研究に費やしました。こんなに夢中になれるものに出会った彼はとても幸せな人生を送れたと思います。

私たちも夢中になれる何かをみつけたいものです。図書室には彼の人生を綴った本や彼が作った図鑑があります。ぜひ手に取ってみてください。

